

# カローラ/カローラツーリング モデリスタ バージョン

## フロントスポイラー 取付要領書

品番 MSD41-12003-XX  
品番 MSD41-12004-NP

設定型式: ZWE21#(W)/ZRE212(W)/NRE210(W)/MZE17(W)

設定グレード: 全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

### 取り付け上の注意事項

- 取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
- 商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
- フロントスポイラーを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。(PACプライマーN200を本品に添付)
- Ⓢ プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- Ⓢ 両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- Ⓢ 両面テープの圧着を十分に行なって下さい。500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>)以上
- Ⓢ フロントスポイラー固定用のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。

### 取り付け完了後の点検・注意事項

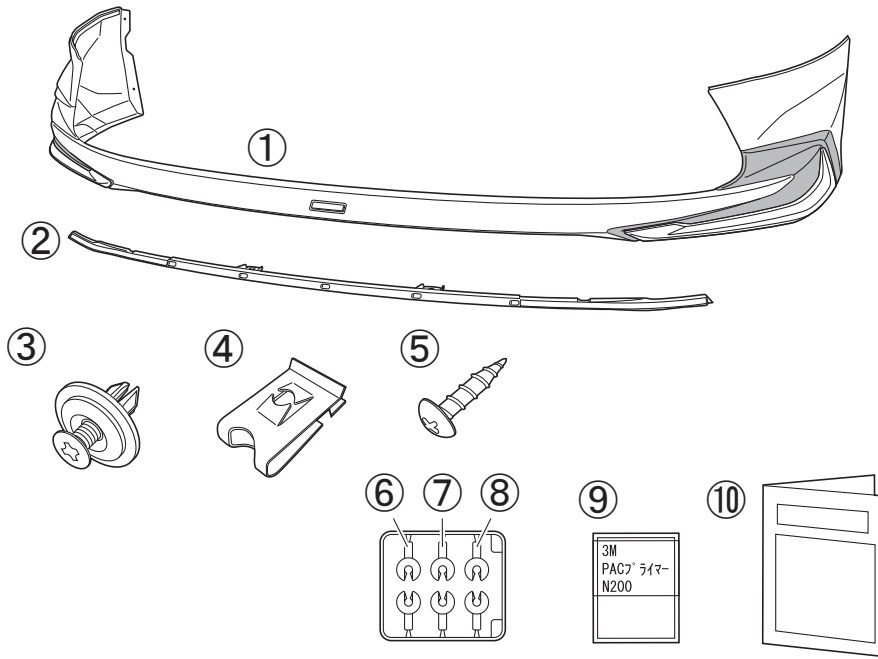
- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、最低3時間は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)



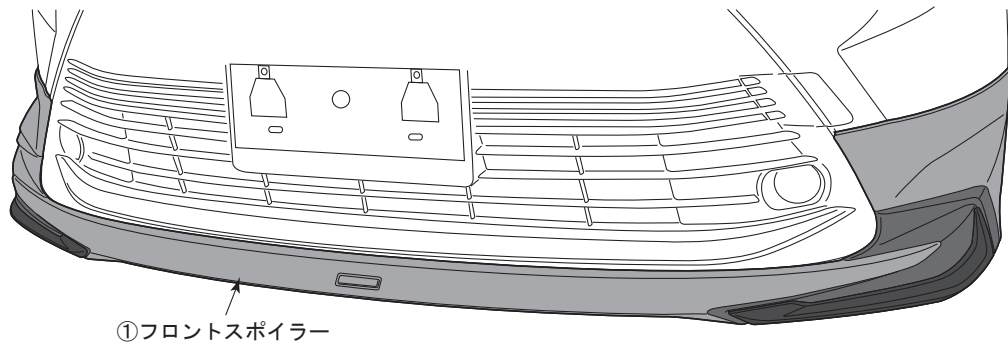
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	リテーナー	1
③	スクリベット	3
④	JナットM5(返し付き)	4
⑤	トラスタッピングスクリューM5×16	4
⑥	つまみ付スペーサー(1mm)	4
⑦	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑧	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑨	PACプライマー-N200	1
⑩	取付要領書	1



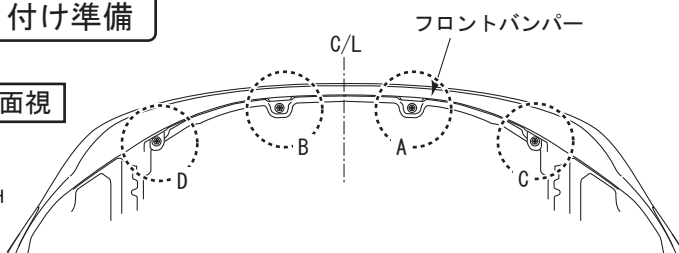
取り付け概要



取付手順

(1) 取り付け準備

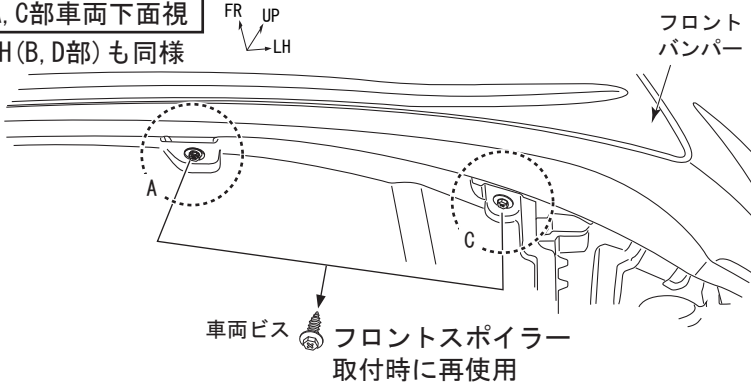
車両下面視



A, C部車両下面視



※RH (B, D部) も同様



車両ビス フロントスポイラー  
取付時に再使用

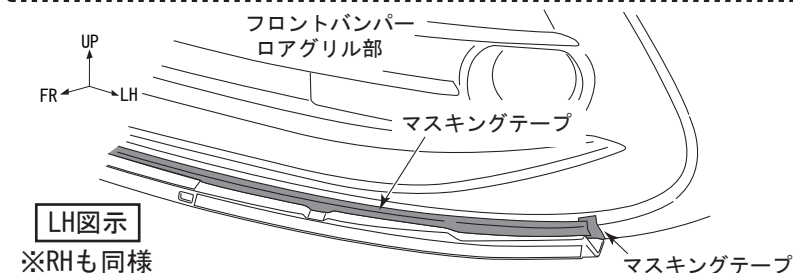
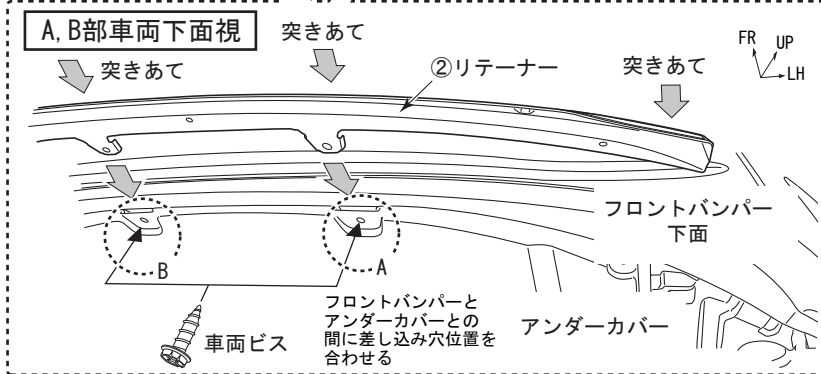
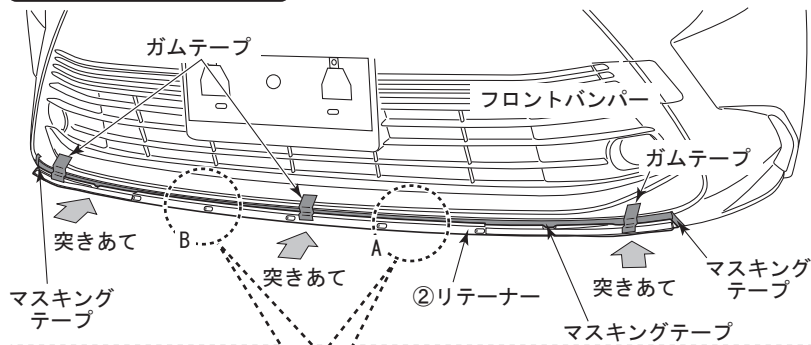
1. フロントバンパー下面のアンダーカバーを固定している、左図A~D部の車両ビスを取り外す。(左右各2カ所 計4カ所)



アドバイス

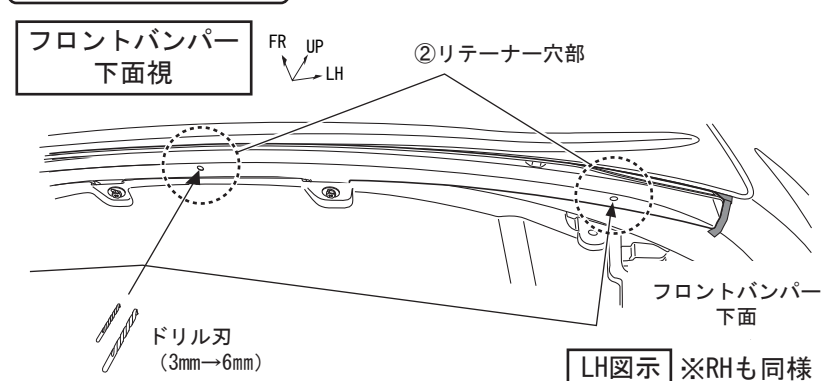
・取り外した車両ビスは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

**(2) 取り付け準備**



- ②リテーナーを左図の要領でフロントバンパーにあてがい、ガムテープで仮固定する。その際、②リテーナーの固定部をフロントバンパーとアンダーカバーとの間にに入れて下さい。
- 図示A、B部を車両ビスで仮固定する。  
(左右各1カ所 計2カ所)
- プライマー塗布の為に、②リテーナー図示外周端部に合わせてマスキングテープでマスキングする。

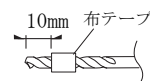
**(3) 取り付け準備**



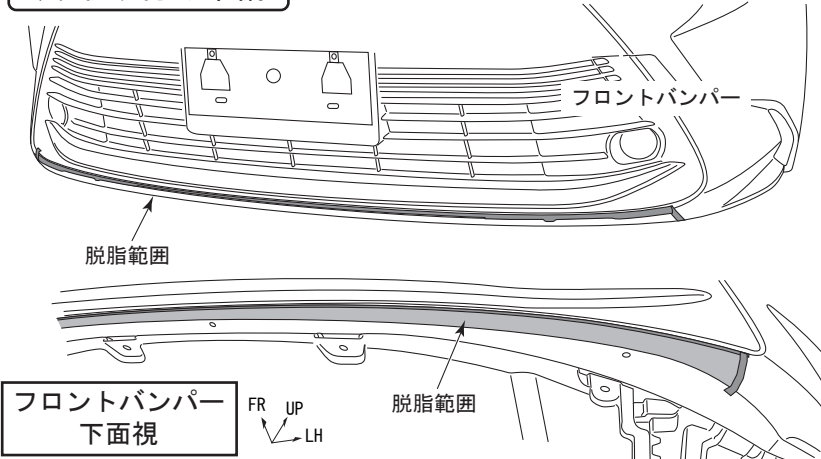
- フロントバンパー下面図示位置の②リテーナー穴部の中心に、ドリルで下穴φ3mm、正規穴φ6mmの順に穴を開ける。(3カ所)
- その後、②リテーナーを取り外し、穴まわりに出来たバリを取り、きれいに整える。

**アドバイス**

- 突き抜け防止の為、ドリル先端から10mmのところを布テープを巻き付けて下さい。

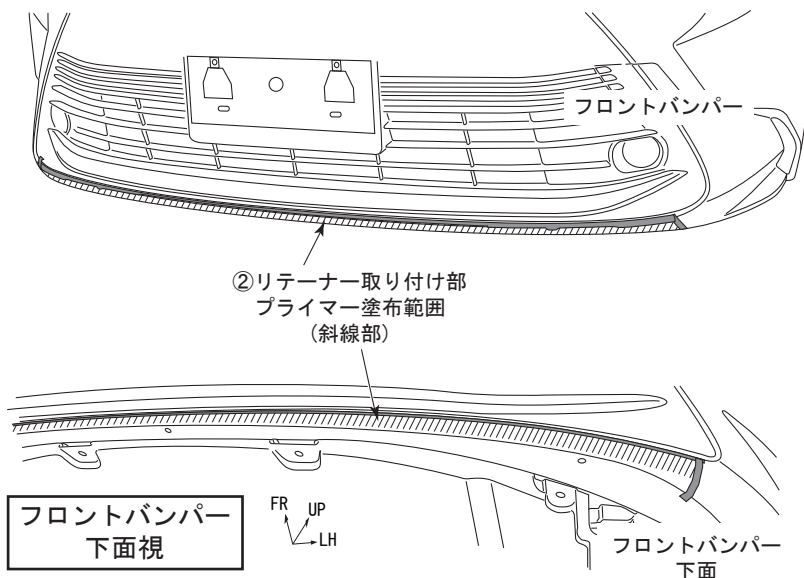


**(4) 取り付け準備**



- 左図 ■部を脱脂する。

(5) 取り付け準備

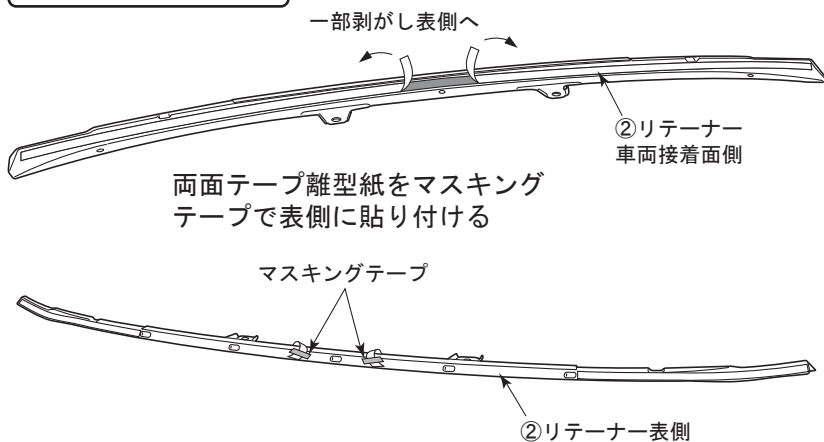


1. 両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑨ PACプライマー-N200を塗布する。
2. ⑨PACプライマー-N200塗布後、マスキングテープを剥がして下さい。

👉 アドバイス

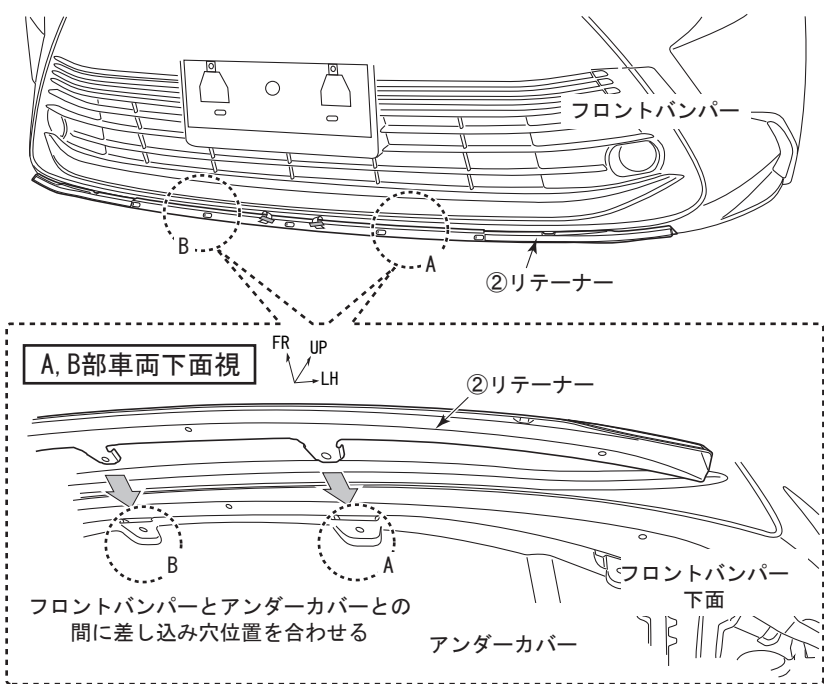
- ・ ⑨PACプライマー-N200は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・ ⑨PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・ ⑨PACプライマー-N200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

(6) 取り付け準備



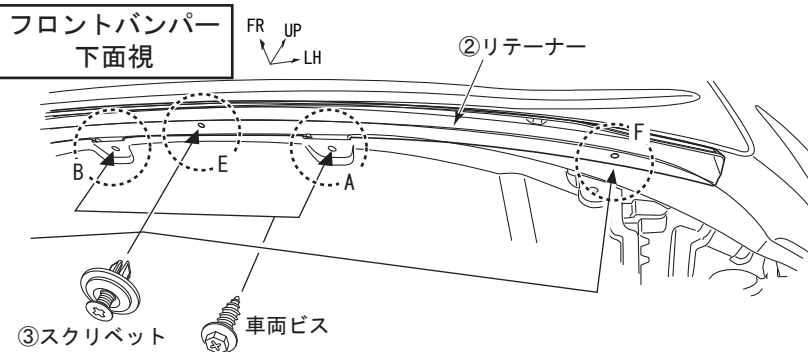
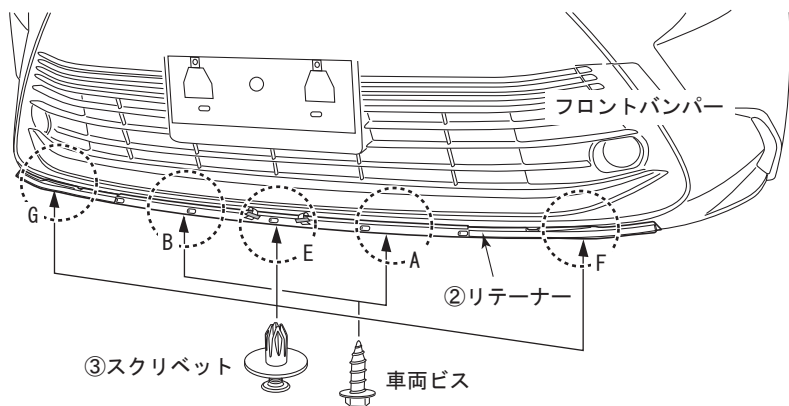
1. ②リテーナーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(7) 取り付け準備



1. ②リテーナーを左図の要領でフロントバンパーにあてがい、ガムテープで仮固定する。その際、②リテーナーの固定部をフロントバンパーとアンダーカバーとの間に入れて下さい。

**(8) 取り付け準備**

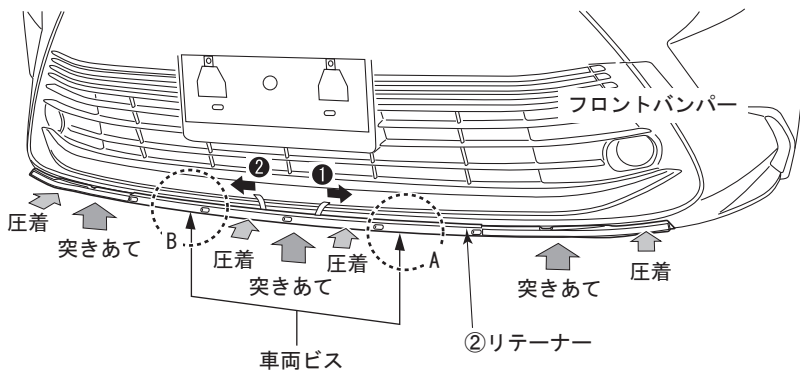


1. フロントバンパー下面、図示A, B部を車両ビスで仮固定する。  
(左右各1カ所 計2カ所)
2. 図示E, F, G部を③スクリベットで固定する。  
(計3カ所)

**アドバイス**

- ・③スクリベットはしっかりと奥まで押し込んで下さい。

**(9) 取り付け準備**



取付位置が下がらないよう、下面を突きあてながら離型紙を引き抜く

1. 両面テープ離型紙を図示①～②の順に引き抜きながら圧着する。

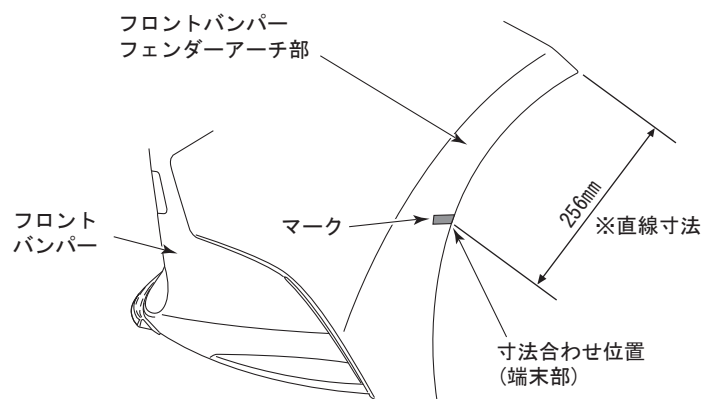
**アドバイス**

- ・両面テープの圧着力は500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>) 以上で行なって下さい。

**重要**

2. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再圧着する。
3. 図示A, B部の車両ビスを本締めする。  
(左右各1カ所 計2カ所)

**(10) 取り付け準備**



**LH図示**

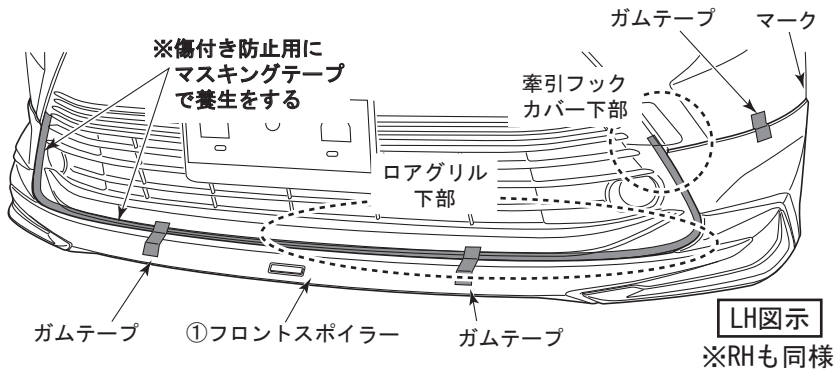
※RHも同様

1. 左図参考寸法に従い、フロントバンパーフェンダーアーチ部にマスキングテープでマークする。

**アドバイス**

- ・左図寸法は直線寸法で計測して下さい。

**(11) 取り付け準備**

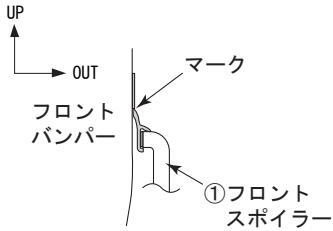


1. ①フロントスポイラーをフロントバンパーフェンダーアーチのマーク位置に合わせて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。

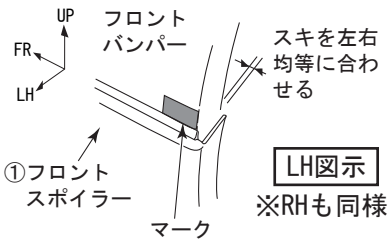
**アドバイス**

- ・フロントバンパーへ①フロントスポイラー取付時の傷付き防止の為、フロントグリル部をマスキングテープ等で養生して下さい。
- ・位置決めの際、ホイールハウス部の左右のスキ及び、ロアグリル下部のスキを均等にして下さい。

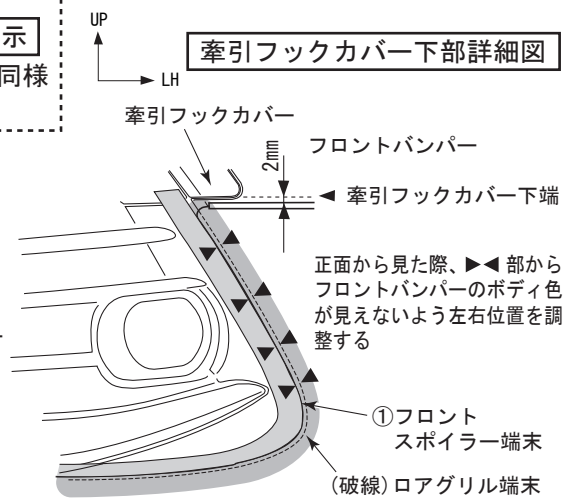
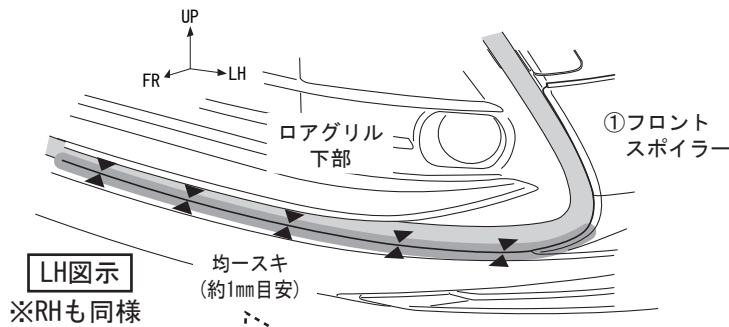
**マーク部断面図**



**ホイールハウス部詳細図**

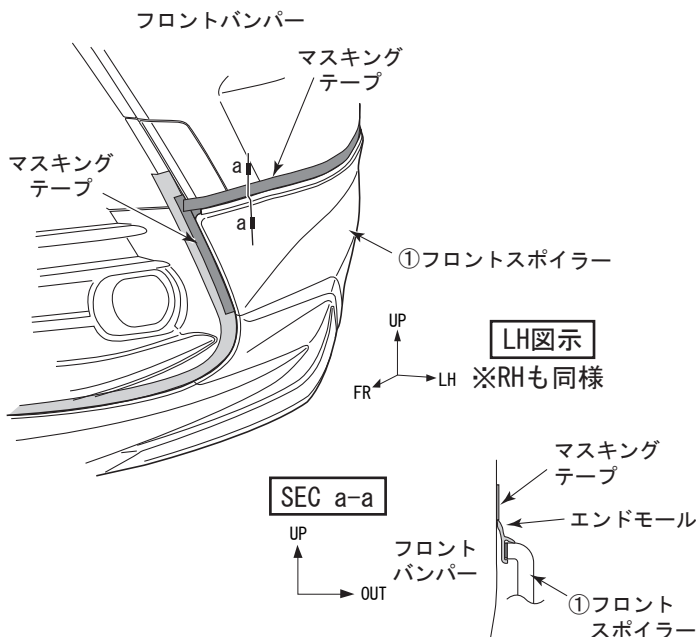


**ロアグリル下部詳細図**



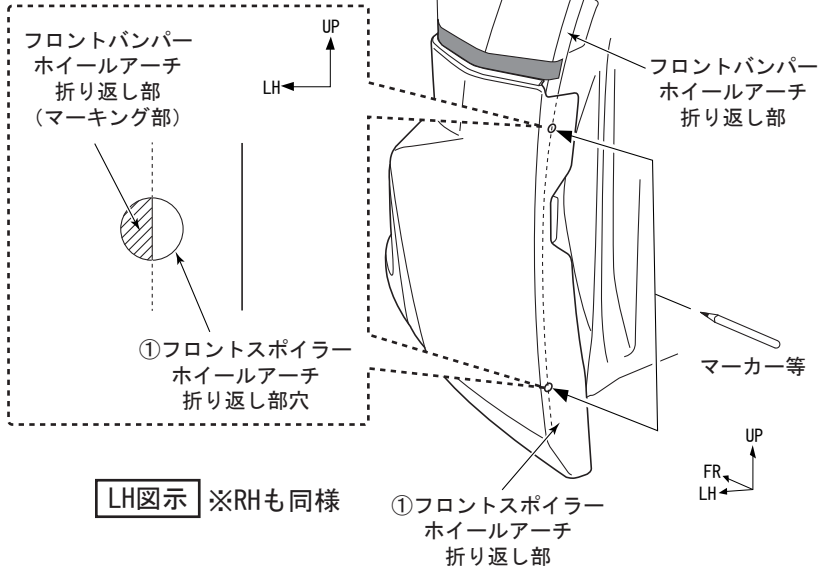
車両部品の影になりスキが見えづらい場合は、1mm厚のスペーサー(※厚紙等の傷つかないもの)を挟む等し、狙いスキを確保するように作業して下さい

**(12) 取り付け準備**

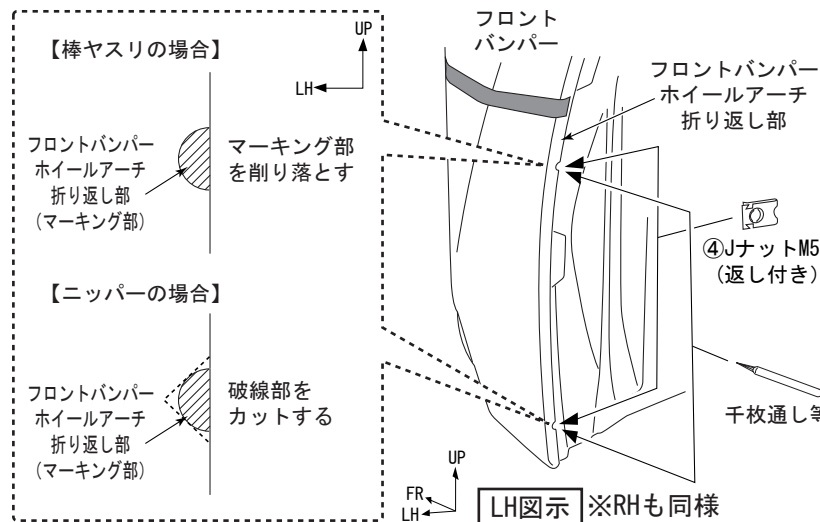


1. プライマー塗布の為に、①フロントスポイラーの上部に貼り付けてあるエンドモール上端及びロアグリル側端末に合わせてマスキングテープでマスキングする。

**(13) 取り付け準備**



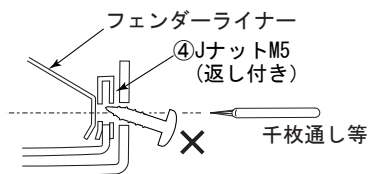
LH図示 ※RHも同様



LH図示 ※RHも同様

1. ①フロントスポイラーホイールアーチ折り返し部穴位置をフロントバンパーホイールアーチ折り返し部にマーキングする。  
(左右各2カ所 計4カ所)
2. ①フロントスポイラーを一旦取り外す。
3. マーキングしたフロントバンパーホイールアーチ折り返し部を棒ヤスリで削り落とすか、ニッパーでカットする。  
(左右各2カ所 計4カ所)
4. フロントバンパーホイールアーチ折り返し部の削り落とした位置へ④JナットM5(返し付き)の穴位置を合わせて取り付ける。  
(左右各2カ所 計4カ所)
5. 図示部の④JナットM5(返し付き)の穴位置中心に、千枚通し等でフェンダーライナーに大きめに下穴をあける。  
(左右各2カ所 計4カ所)

**穴あけ部断面図**

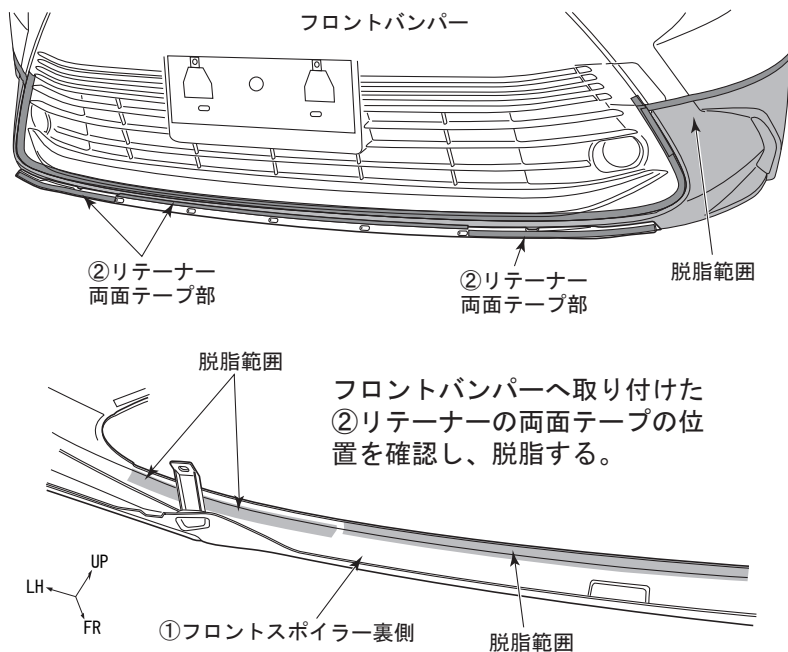


(20)の後工程の際、フェンダーライナーにタッピングスクリューが乗り上げて斜めにささないよう、大きめに下穴をあけフェンダーライナーをタッピングスクリューが貫通するようにする

**アドバイス**

- ・作業しづらい場合は、フロントバンパーホイールアーチ部下面のビスを外し、ホイールアーチ部をずらしながら作業を行なって下さい。

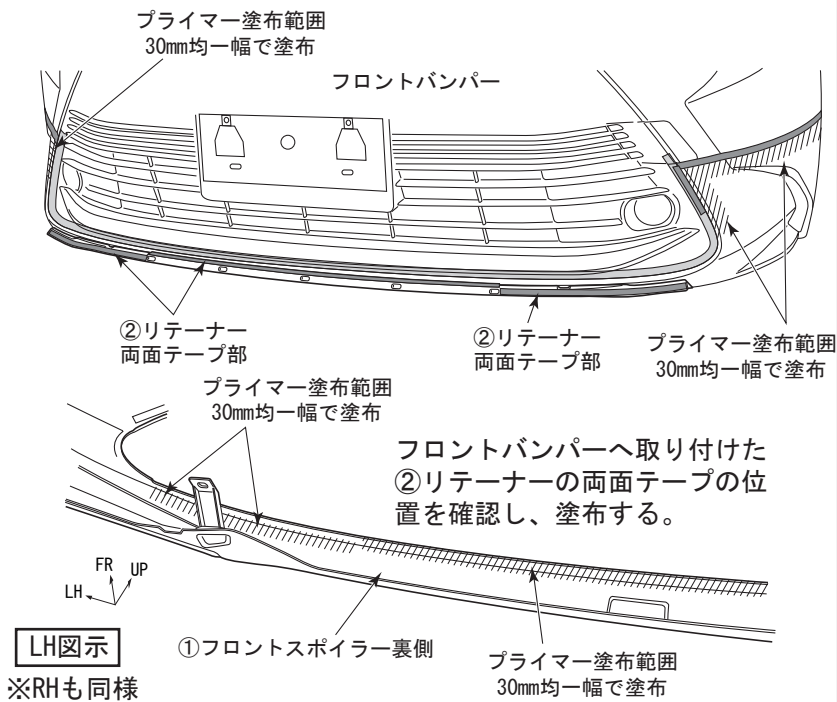
**(14) 取り付け準備**



フロントバンパーへ取り付けた②リテーナーの両面テープの位置を確認し、脱脂する。

1. 左図 ■部を脱脂する。

**(15) 取り付け準備**

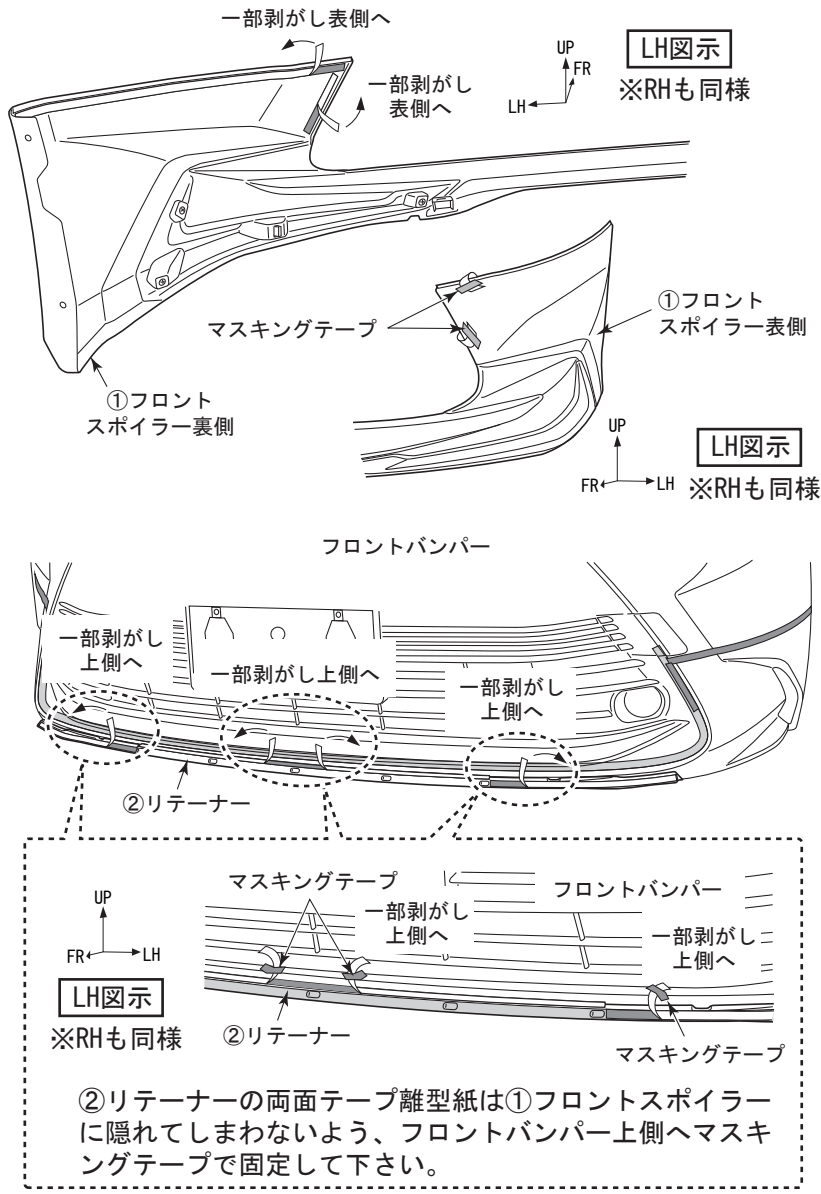


1. フロントバンパー及び、①フロントスポイラー裏側の両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に⑨PACプライマー-N200を塗布する。
2. ⑨PACプライマー-N200塗布後、マスキングテープは①フロントスポイラー取り付け時にマークになりますので、剥がさないで下さい。

**アドバイス**

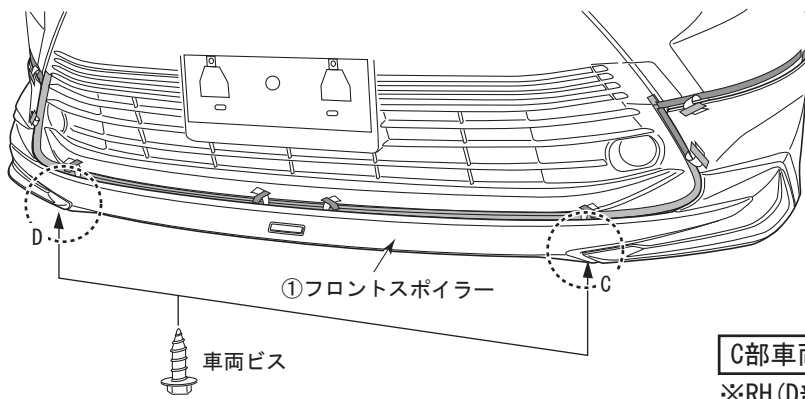
- ・⑨PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑨PACプライマー-N200塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。
- ・リテーナー取り付け部も⑨PACプライマー-N200を必ず塗布して下さい。

**(16) 取り付け準備**



1. ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
2. フロントバンパーへ取り付けした、②リテーナーの両面テープ離型紙を一部剥がし、図示要領でマスキングテープで貼り付ける。

**(17) 取り付け**



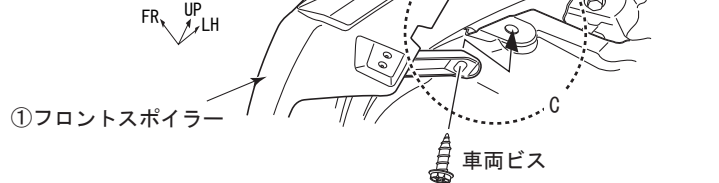
- ① フロントスポイラーを車両へあてがい、フロントバンパー下面、図示C, D部を車両ビスで仮固定する。  
(左右各1カ所 計2カ所)

**アドバイス**

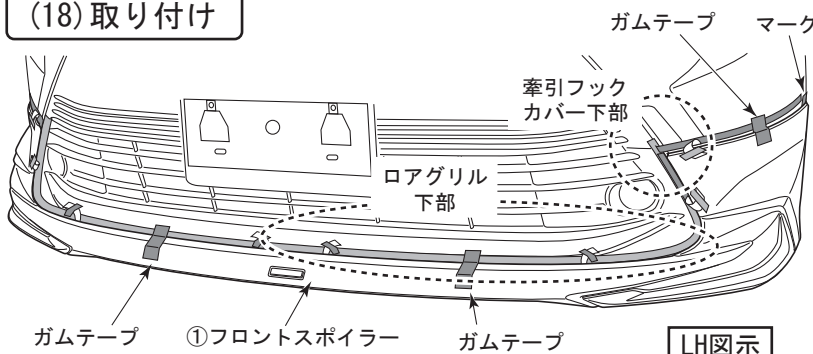
- ① フロントスポイラーが落下しない程度に軽く仮固定して下さい。

**C部車両下面視**

※RH(D部)も同様



**(18) 取り付け**

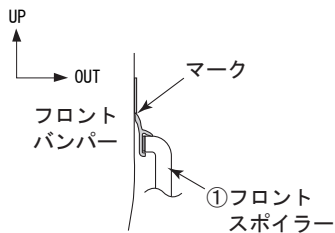


- ① フロントスポイラーをフロントバンパーフェンダーアーチのマーク位置及び、図示の要領で合わせを行ない、ガムテープで仮固定する。

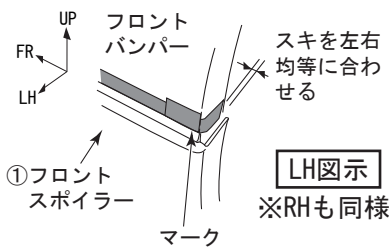
**アドバイス**

- 位置決めの際、ホイールハウス部の左右のスキ及び、ロアグリル下部のスキを均等にして下さい。

**マーク部断面図**



**ホイールハウス部詳細図**

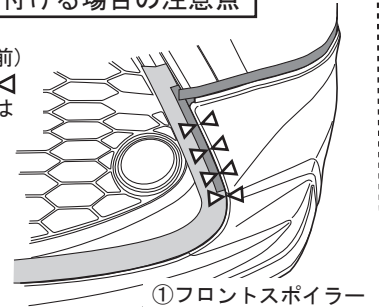


**LH図示**

※RHも同様

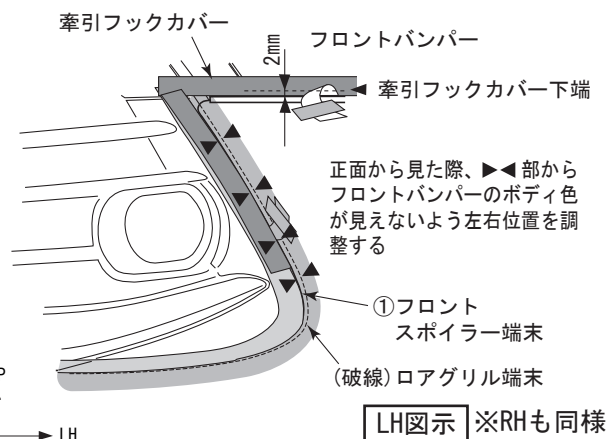
**旧型式車に取り付ける場合の注意点**

旧型式車(2022.9.以前)への取り付けの場合◁部ロアグリル側面部は製品間のスキが2mm程度あきます



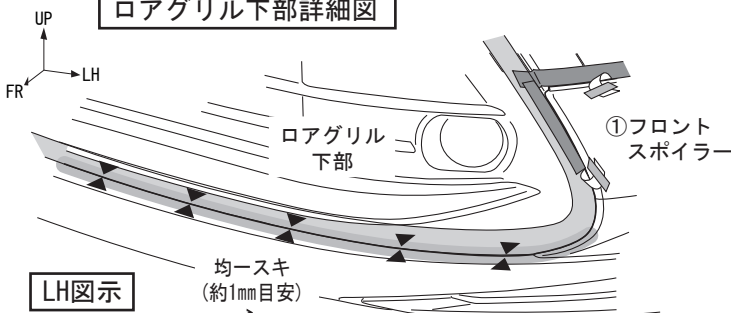
※RHも同様

**牽引フックカバー下部詳細図**



※RHも同様

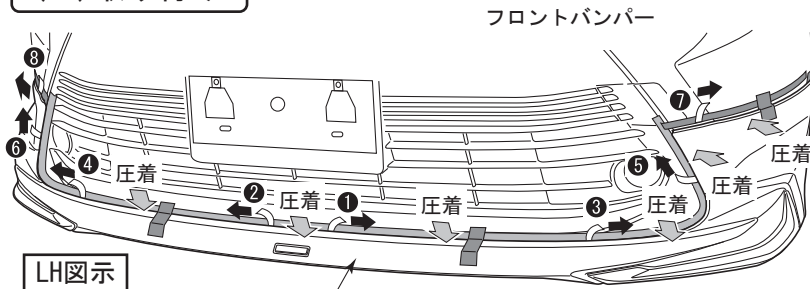
**ロアグリル下部詳細図**



※RHも同様

車両部品の影になりスキが見えづらい場合は、1mm厚のスペーサー(※厚紙等の傷つかないもの)を挟む等し、狙いスキを確保するように作業して下さい

### (19) 取り付け



LH図示

※RHも同様

① フロントスポイラー

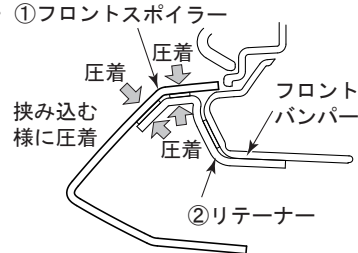
※①～④部の②リテーナー部の両面テープ  
離型紙は①フロントスポイラー下側から  
手を入れ挟み込む様に圧着しながら引き  
抜いて下さい。

LH図示

※RHも同様

UP

FR



1. 両面テープ離型紙を図示①～⑧の順に引き抜きながら圧着する。

アドバイス

- ・両面テープの圧着力は500kPa (5kgf/cm<sup>2</sup>)以上で行なって下さい。

重要

2. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再圧着する。
3. 全てのマスキングテープ、養生を剥がす。

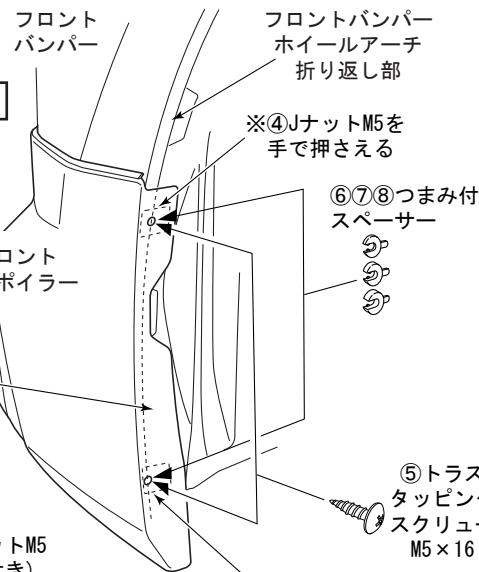
### (20) 取り付け

ホイールハウス部詳細図

LH図示

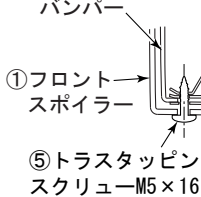
※RHも同様

UP  
FR  
LH



取付断面図

フロントバンパー

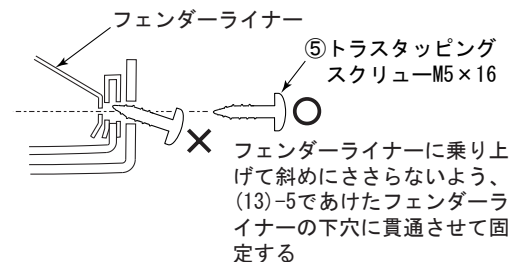


LH図示

※RHも同様

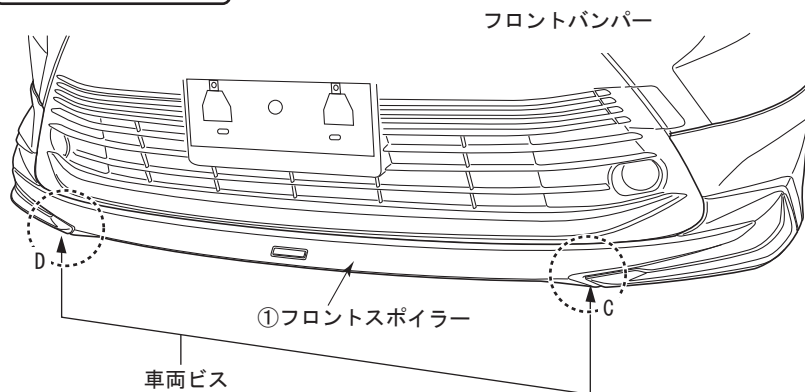
1. ①フロントスポイラーホイールハウス折り返し部を、④JナットM5(返し付き)が回転しないよう手で押さえながら、⑤トラスタッピングスクリーンM5×16で仮固定する。その際、①フロントスポイラーとフロントバンパーとの間に隙間がある場合は、適切な厚みのつまみ付スペーサーを入れる。(左右各2カ所 計4カ所)

取付断面図



2. つまみ付スペーサーのつまみ部を①フロントスポイラー内側に回転させて隠す。(左右各2カ所 計4カ所)

### (21) 取り付け



LH図示

※RHも同様

UP  
FR  
LH

① フロント  
スポイラー

フロント  
バンパー

⑤ トラスタッピング  
スクリーン  
M5 x 16

LH図示

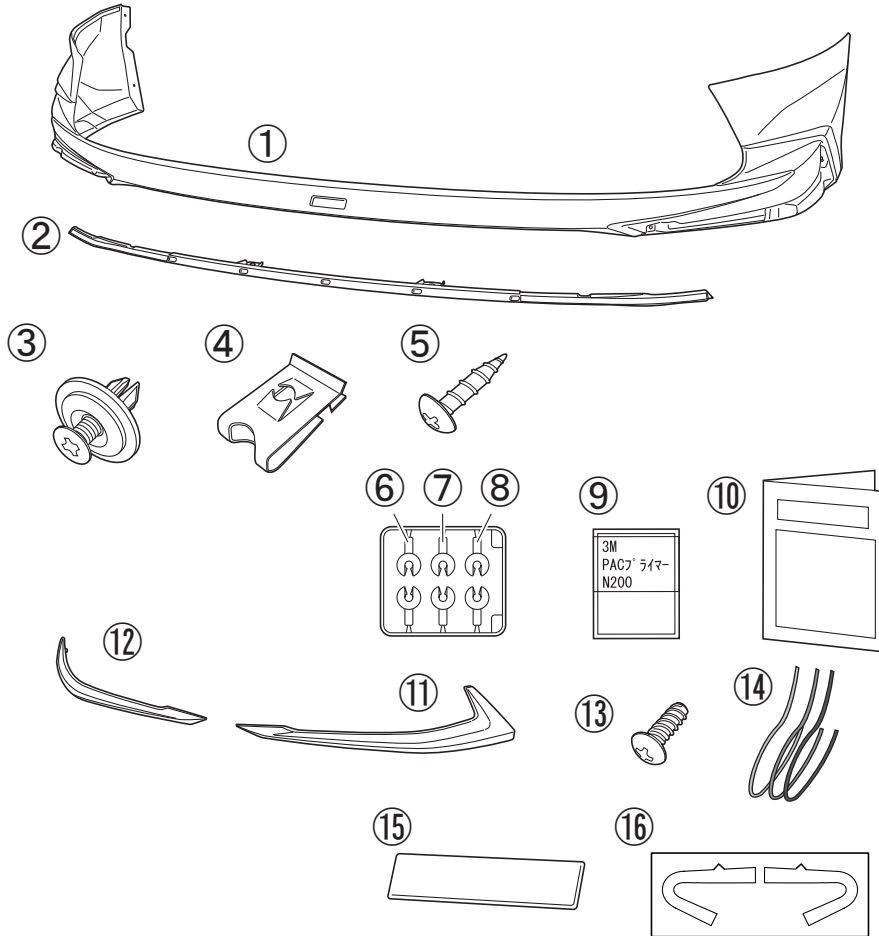
※RHも同様

1. 全ての両面テープ接着面を3時間後に全て本圧着する。
2. 全てのビスを本締めする。(6カ所)

ホイールハウス部詳細図

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	リテーナー	1
③	スクリベット	3
④	JナットM5(返し付き)	4
⑤	トラスタッピングスクリュー-M5×16	4
⑥	つまみ付スペーサー(1mm)	4
⑦	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑧	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑨	PACプライマー-N200	1
⑩	取付要領書	1
⑪	メッキパーツLH	1
⑫	メッキパーツRH	1
⑬	トラスタッピングスクリュー-M4×10	6
⑭	エンドモール	ライトグレー: 1 ダークグレー: 1 黒: 1
⑮	エンブレムプレート	1
⑯	マスキングシール	1セット

⑭エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
040	スーパーホワイトII	ライトグレー
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	ダークグレー
1K3	セレストライトグレーメタリック	ダークグレー
209	ブラックマイカ	黒
220	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン	黒
3U4	スカーレットメタリック	黒
8W7	ダークブルーマイカメタリック	黒
3T3	センシユアルレッドマイカ	黒
1K9	スレートグレーメタリック	黒
4V0	アーミーロックメタリック	ダークグレー
1L6	マッシュグレー	黒
218	アティチュードブラックマイカ	黒
8X7	ブルーメタリック	黒

## (1) 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

### アドバイス

- ・脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- ・もし、ペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手を#600以上で完了して下さい。

2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。

3. 上塗り塗装を行なう。(本品の材質はABSです。)

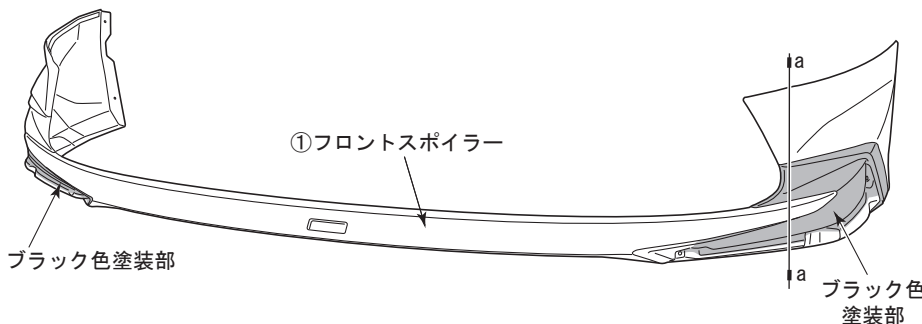
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。

※図示部をブラックに塗装する際は、図示要領でマスキングする。

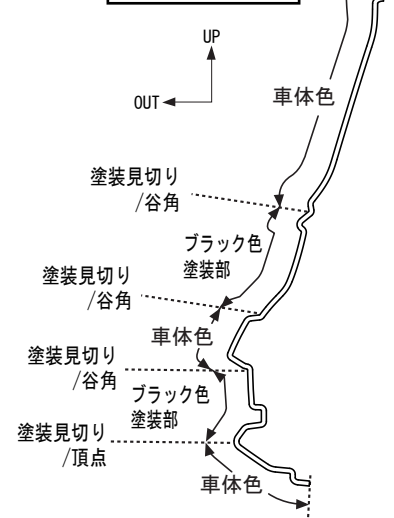
※ブラック塗装はブラック<202>で塗装して下さい。

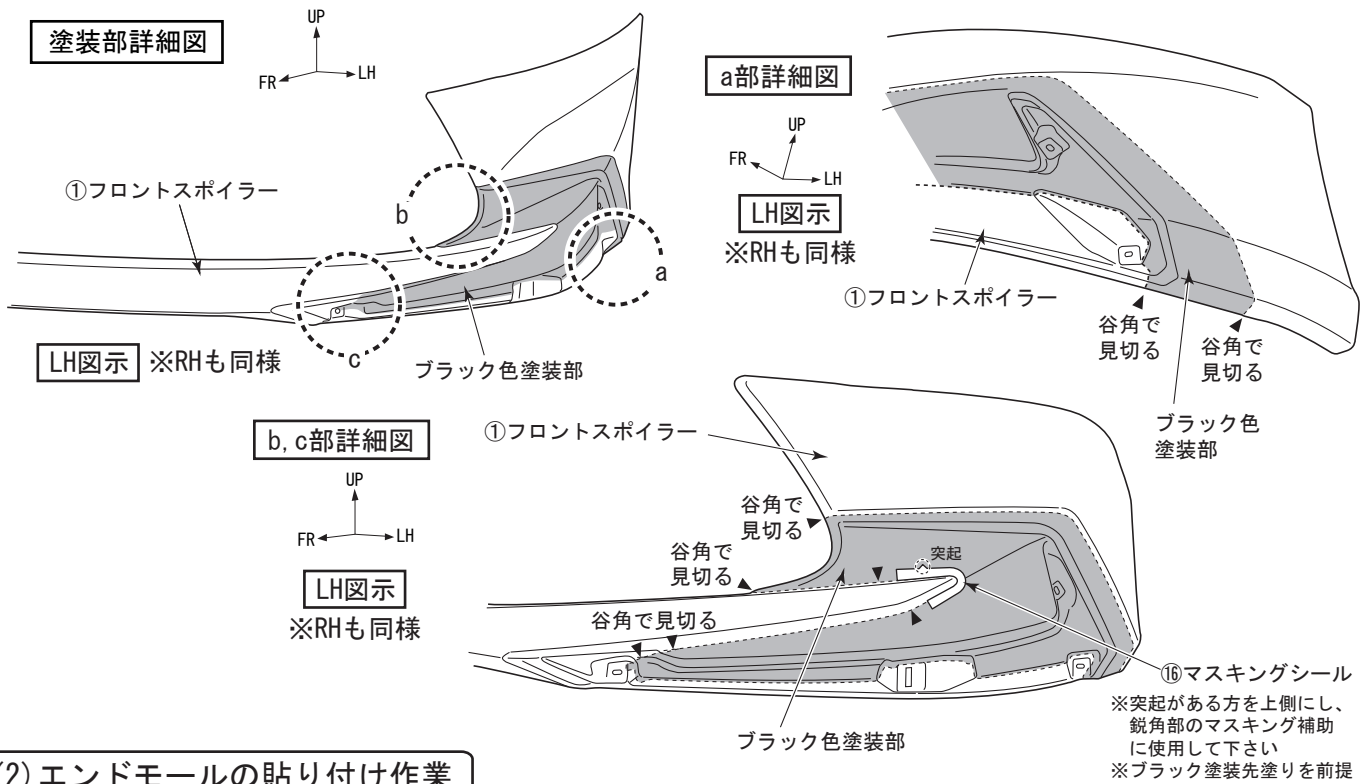
4. 乾燥

注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。



塗装部断面図  
Sec a-a部





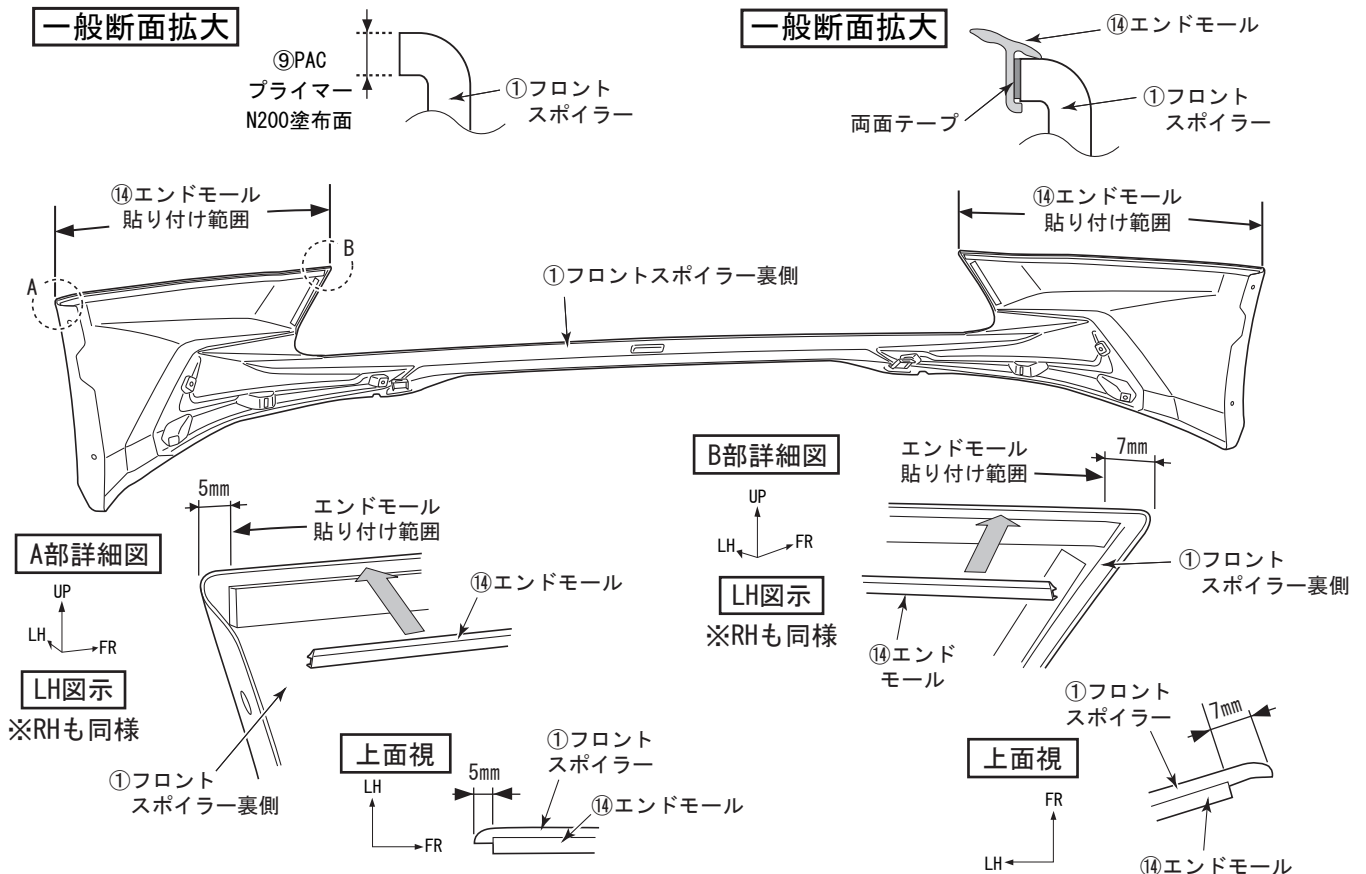
## (2) エンドモールの貼り付け作業

1. 塗装終了後⑭エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑨PACプライマー-N200を塗布する。

### 👉 アドバイス

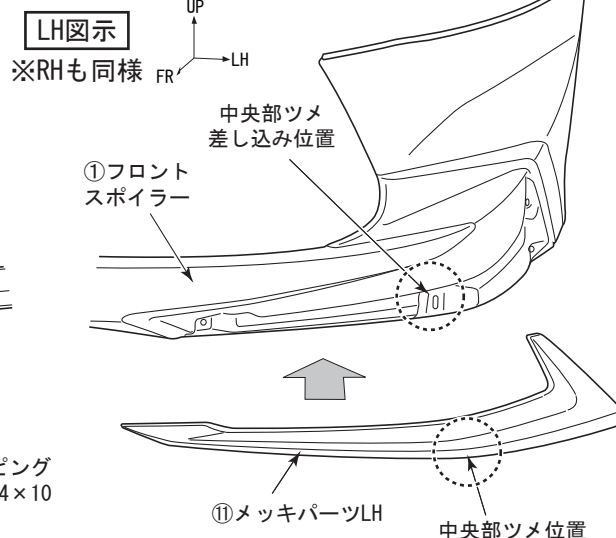
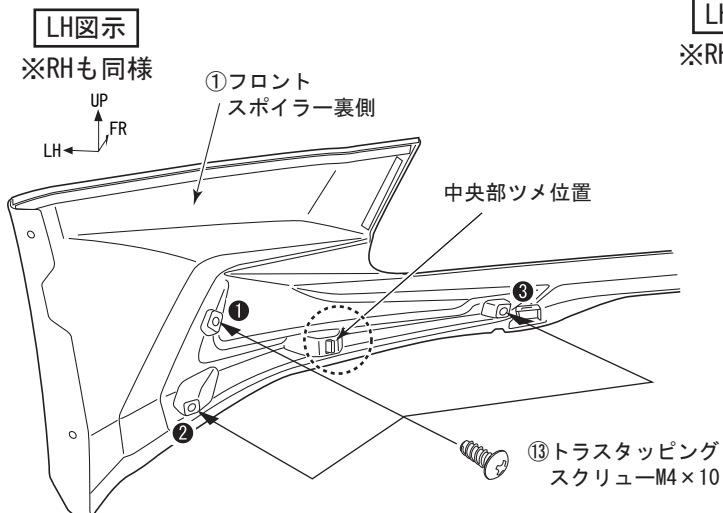
- ・⑨PACプライマー-N200は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ・⑨PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・⑨PACプライマー-N200塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 下図の要領で⑭エンドモールを貼り付ける。



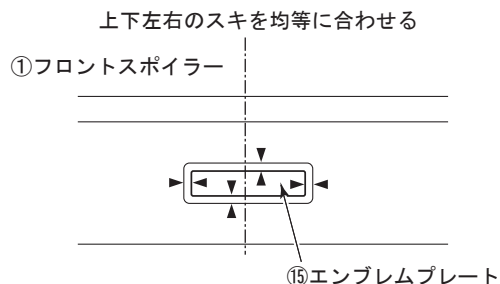
### (3) メッキパーツの取り付け作業

- ①フロントスポイラーへ⑪メッキパーツLHをあてがい、中央部のツメを差し込み仮固定する。
- ①フロントスポイラー裏側から⑬トラスタッピングスクリューM4×10で①～③の順に固定する。(左右各3カ所 計6カ所)



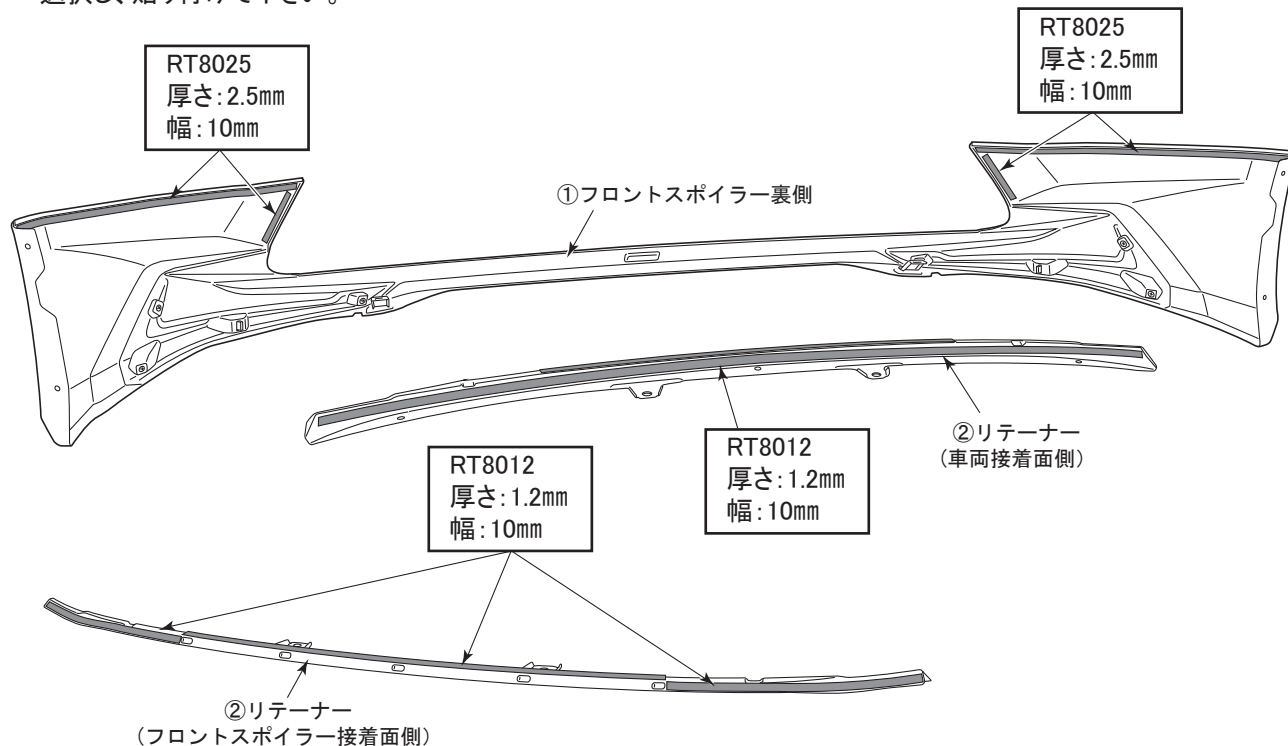
### (4) エンブレムプレートの貼り付け作業

- ⑮エンブレムプレートを貼り付ける部分を脱脂する。
- ⑮エンブレムプレート裏面の両面テープ離型紙を剥がし①フロントスポイラーの取り付け座面に、上下左右のスキが均等になる様に合わせて貼り付ける。



### 参考

- 補修キット(品番:MSD80-12H04)を使用してフロントスポイラーの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

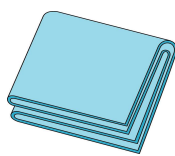


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



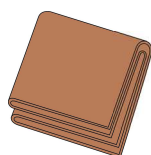
合成セーム皮



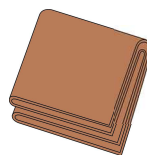
脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス




WET 用  
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)  
※純度 100%推奨

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



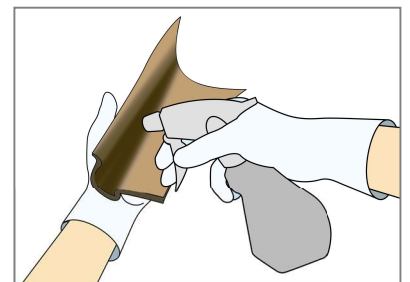
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

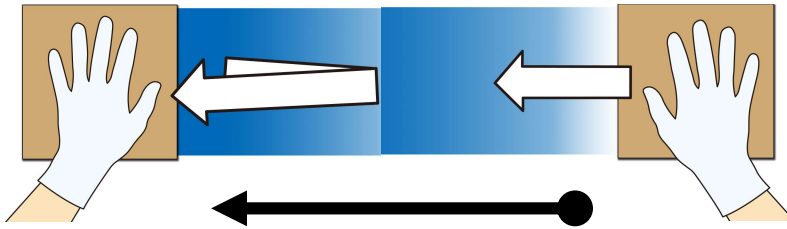
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

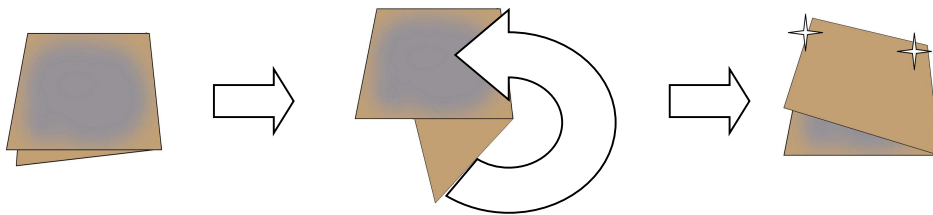
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。